



from Hong Kong

超高層ビル群から抜け出して



マクリホース・トレイルを示す標識

香港の典型的な風景と言えば、ビクトリア・ハーバーとその傍らに建つ超高層ビル群ですが、一方で香港に住むと自然に触れる機会も多いと感じます。

香港では、約 1,100km²（東京都の約半分）の土地に、約 750 万人の人々が暮らしています。開発された土地は全体の 25% で、40% は開発が制限されたカントリーパーク（注）等に指定されています。その中には、数多くのトレイル（ハイキングコース）が整備され、香港に住む人々にアクティビティの機会を提供しています。

カントリーパーク設置のきっかけは、1960 年代、米国から招かれた環境保護家リー・タルボット博士が行った調査報告でした。博士は報告書の中で、自然のオープンスペースを、より多くの住宅ではなく、運動と休養のために用いる必要性を訴えたそうです。その後、1979 年には 21カ所のカントリーパークが指定され（現在は 24カ所まで増加）、その中に多くのトレイルが整備されました。

香港の四大トレイルの一つとして有名なのが、マクリホース・トレイルです。香港の新界地区を東西に貫くトレイルで、全長は約 100km。美しいビーチや山などを満喫できます。熱狂的なハイカーとしても知られる、英植民地時代のマクリホース総督（在任時期は 1971～82 年）にちなんで名付けられました。

2019 年にカントリーパークを訪れた人は、人口を上回る約 1,120 万人。同年の香港の男女の平均寿命は、それぞれ 82.3 歳と 88.1 歳で、世界の中でも長寿を誇ります。休日に、中心部の超高層ビル群から抜け出し、美しい景色と新鮮な空気を求めてカントリーパークを訪れる。タルボット博士が目指した、「(カントリーパークで心と体の) 均衡を取り戻す」ことで、香港の人々は長寿を保っているのかもしれませんが。

(香港事務所)

*本コーナーは海外で働く日本銀行職員または日本銀行からの出向者が執筆しています。
(注) カントリーパーク：自然保護等を目的に香港政府が指定した公園。広東語で「郊野公園」。



マクリホース・トレイルから眺める
ハムティンワン・ビーチ（鹹田灣泳灘）



ハムティンワン・ビーチから見た
シャープピーク（蚡蛇尖）